

( 報道資料 )

## 平成 15 年度 環境中のダイオキシン類の調査結果について

平成16年5月21日  
奈良市企画部環境保全課対策係  
0742-34-1111 ( 内線2232 )

ダイオキシン類対策特別措置法第 26 条に基づき、平成 15 年度に奈良市が実施した環境中の大気、水質、土壌等のダイオキシン類の調査結果は、次のとおりです。

環境媒体	地点数	平均値	濃度範囲	環境基準値
大 気	2	0.054	0.055 , 0.054	0.6
公共用水域水質	3	0.33	0.31 ~ 0.35	1
公共用水域底質	3	1.1	0.87 ~ 1.5	150
地 下 水 質	5	0.079	0.070 ~ 0.11	1
土 壤	5	0.36	0.0018 ~ 1.6	1,000

単位：大気 pg-TEQ / m<sup>3</sup>  
水質 pg-TEQ /  
底質 pg-TEQ / g  
土壌 pg-TEQ / g

環境中の大気、公共用水域水質、公共用水域底質、地下水質、土壌のダイオキシン類について、市内18地点で調査を実施した。  
その結果、大気、公共用水域水質、公共用水域底質、地下水質、土壌の全地点において環境基準を下回っていた。

## 【 調査地点及び調査結果 】

### 大 気

1. 調査地点と検体数  
西部大気汚染測定局（百楽園四丁目）と奈良市青少年児童会館（西木辻町）の2地点でそれぞれ年4回（6月，8月，11月，2月）実施。（8検体）
2. 調査結果 （別紙1）  
2地点の平均値は  $0.054\text{pg-TEQ} / \text{m}^3$ 、濃度は年平均値でそれぞれ  $0.055$  と  $0.054\text{pg-TEQ} / \text{m}^3$ であり、両地点で環境基準（ $0.6\text{pg-TEQ} / \text{m}^3$ ）を下回っていた。

### 公共用水域水質

1. 調査地点と検体数  
秋篠川、白砂川、菩提川（すべて流末）の3地点においてそれぞれ年1回実施。（3検体）
2. 調査結果 （別紙2）  
3地点の平均値は  $0.33\text{pg-TEQ} /$ 、濃度はそれぞれ  $0.35, 0.32, 0.31\text{pg-TEQ} /$  であり、すべての地点で環境基準（ $1\text{pg-TEQ} /$ ）を下回っていた。

### 公共用水域底質

1. 調査地点と検体数  
公共用水域水質と同じ3地点においてそれぞれ年1回実施。（3検体）
2. 調査結果 （別紙2）  
3地点の平均値は  $1.1\text{pg-TEQ} / \text{g}$ 、濃度はそれぞれ  $0.87, 0.96, 1.5\text{pg-TEQ} / \text{g}$  であり、すべての地点で環境基準（ $150\text{pg-TEQ} / \text{g}$ ）を下回っていた。

### 地下水質

1. 調査地点と検体数  
法華寺町、東九条町、川上町、あやめ池北、富雄北の5地点においてそれぞれ年1回実施。（5検体）
2. 調査結果 （別紙2）  
5地点の平均値は  $0.079\text{pg-TEQ} /$ 、濃度範囲は  $0.070 \sim 0.11\text{pg-TEQ} /$  であり、すべての地点で環境基準（ $1\text{pg-TEQ} /$ ）を下回っていた。

### 土 壤

1. 調査地点と検体数  
紀寺町、法蓮町、鳥見町、東登美ヶ丘、柳生下町の5地点においてそれぞれ年1回実施。（5検体）
2. 調査結果 （別紙2）  
5地点の平均値は  $0.36\text{pg-TEQ} / \text{g}$ 、濃度範囲はそれぞれ  $0.0018 \sim 1.6\text{pg-TEQ} / \text{g}$  であり、すべての地点で環境基準（ $1000\text{pg-TEQ} / \text{g}$ ）を下回っていた。

### 測定方法

#### 大気

「ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル」（平成13年8月環境省大気環境課）

#### 公共用水域水質及び地下水質

JIS K 0312（工業用水・工場排水中のダイオキシン類及びポリ-PCBの測定方法）

#### 公共用水域底質

「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」（平成12年3月環境庁水質保全局水質管理課）

#### 土 壤

「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル」（平成12年1月環境庁水質保全局土壌農業課）

【 参考 】

1 . 全国における環境中のダイオキシン類濃度の状況

平成 14 年度ダイオキシン類に係る環境調査結果 (平成 15 年 12 月環境省)

単位 : 大気 pg-TEQ / m<sup>3</sup>  
水質 pg-TEQ /  
底質 pg-TEQ / g  
土壌 pg-TEQ / g

環境媒体	地点数	平均値	濃度範囲	環境基準値
大気 (一般環境)	731	0.093	0.0066 ~ 0.84	0.6
公共用水域水質 (河川)	1,458	0.30	0.010 ~ 2.7	1
公共用水域底質 (河川)	1,133	9.5	0.029 ~ 640	150
地下水質	1,310	0.066	0.011 ~ 2.0	1
土壌 (一般環境)	2,282	3.4	0 ~ 250	1,000

2 . 用語解説

・ ダイオキシン類

ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン(PCDD)、ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF) 及び  
コプラナーポリ塩化ビフェニル(コプラナーPCB)の総称

・ pg (ピコグラム)

g(グラム)の1兆分の1の重量を表す単位

・ TEQ (毒性等量)

ダイオキシン類の実測濃度に TEQ (ダイオキシン類の異性体の中で最も毒性の強い 2,3,7,8-TCDD の毒性を 1 としたときの他の異性体の相対的な毒性) を乗じて合計したもの

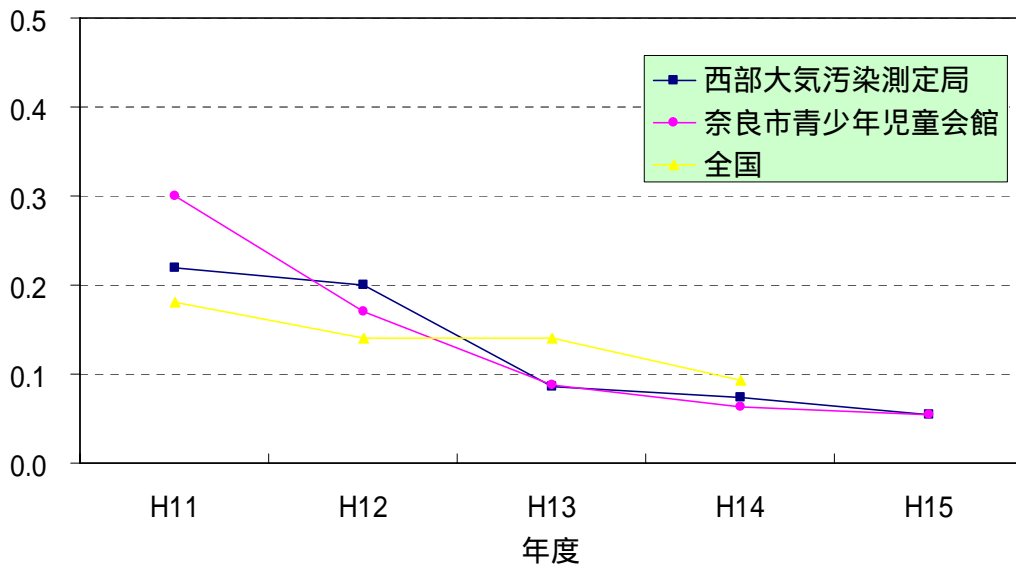
ダイオキシン類（大気）調査結果（平成 15 年度）

（単位：pg-TEQ / m<sup>3</sup>）

調査地点	調査月					環境基準値
	6月	8月	11月	2月	平均値	
西部大気汚染測定局	0.033	0.042	0.087	0.057	0.055	0.6
奈良市青少年児童会館	0.022	0.043	0.084	0.065	0.054	

< 経年変化 >

（単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>）



（注）H11 年度は PCDD 及び PCDF のみの値である。

## ダイオキシン類（公共用水域（水質・底質））調査結果（平成 15 年度）

地 点	河 川	ダイオキシン類毒性等量	
		水質 (pg-TEQ / )	底質 (pg-TEQ / g)
大和川水系			
秋篠川流末 (七条東町)	秋篠川	0.35	0.87
菩提川流末 (恋の窪三丁目)	菩提川	0.31	1.5
淀川水系			
白砂川流末 (広岡町)	白砂川	0.32	0.96

## ダイオキシン類（地下水質）調査結果（平成 15 年度）

地 点	ダイオキシン類毒性等量 (pg-TEQ / )
法華寺町	0.11
東九条町	0.071
川上町	0.071
あやめ池北	0.070
富雄北	0.072

## ダイオキシン類（土壌）調査結果（平成 15 年度）

地 点	ダイオキシン類毒性等量 (pg-TEQ / g)
紀寺町	0.10
法蓮町	0.0018
鳥見町	0.045
東登美ヶ丘	0.044
柳生下町	1.6